

平成29年度第9回定例
松本市教育委員会会議録

松本市教育委員会

平成２９年度第９回定例松本市教育委員会会議録

平成２９年度第９回定例松本市教育委員会が平成２９年１２月２１日午後３時００分教育委員室に招集された。

平成２９年１２月２１日（木）

議 事 日 程

平成２９年１２月２１日午後３時００分開議

第１ 開 会

第２ 教育長挨拶

第３ 議 事

[議案]

第１号 松本市社会教育委員の委嘱について

第２号 図書館コンピュータシステム更新に伴う休館について

[報告]

第１号 平成２９年松本市議会１２月定例会の結果について

第２号 平成２９年度行政改革（平成３０年度実施）について

第３号 平成２９年度「地区の皆さんと語る会」の開催結果について

第４号 宇宙関連事業講演会の開催結果について

第５号 平成２８年度児童生徒の生徒指導上の諸問題に関する調査結果について

第６号 未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い～第３３回公民館研究集会
地域づくり市民活動研究集会～の開催について

第７号 中学生に対するピロリ菌検査の実施について

第８号 「平成２９年度全国学力・学習状況調査の分析と考察」について

[周知事項]

- 1 松本市出前講座の内容の見直しについて
- 2 松本市美術館館長アートレクチャーの開催について
- 3 市立博物館年始臨時開館について
- 4 平成30年戊戌「宝船 七福神と干支ピンバッジ」の販売について
- 5 松本市市制施行110周年記念 松本市立博物館本館・分館の企画展開催について

[その他]

〔出席委員〕

教 育 長	赤 羽 郁 夫
教育長職務代理者	市 川 莊 一
教 育 委 員	花 村 潔
〃	福 島 智 子
〃	山 田 幸 江

〔出席職員〕

地 域 づ く り 部 長	宮 川 雅 行
教 育 部 長	矢久保 学
教 育 政 策 課 長	小 林 伸 一
教育文化センター所長	中 村 誠
学 校 教 育 課 長	麻 田 仁 郎
学 校 指 導 課 長	横 田 則 雄
学 校 給 食 課 長	山 田 賢 司
生涯学習課長 兼	
中央公民館長	高 橋 伸 光
中 央 図 書 館 長	瀧 澤 裕 子
文 化 財 課 長	大 竹 永 明
松 本 城 管 理 事 務 所 長	中 嶋 岳 大
美 術 館 副 館 長	清 澤 秀 幸
博 物 館 長	木 下 守
博物館事業担当課長	関 沢 聡
健 康 づ く り 課 課 長	林 裕 子
健康づくり課保健予防担当係長	藤 松 美 紀

〔事務局〕

教育政策課 教育政策担当係長	甕 国 人
教育政策課 教育政策担当係長	堀 敬 子

《開会宣言》 午後３時００分

赤羽教育長は平成２９年度第９回定例松本市教育委員会の開会を宣言した。

教育長 いよいよ年の瀬も迫ってきました。今年は例年になく寒さの到来が早い冬となりました。

先日、「今年の漢字」が「北」となりました。「北」という文字で皆さんは何を連想するでしょうか。私は、２０年程前に見た吉永小百合主演の「北の零年」という映画が頭に浮かびます。この映画は、江戸から明治への大きな変革の中で翻弄される武士たちの生き様を扱った作品です。淡路島の小藩が揃って北海道への移住を余儀なくされ、開拓で蓆酸をなめるのです。世間知らずの武士たちは、うまく立ち回る商人に翻弄され、建前で民衆を苦しめる官吏にも翻弄されるのです。しかし、どんなに苦しめられても、彼らはしたたかにしなやかに生きのびる知恵を持っているのです。

映画の最後は、主人公の吉永小百合の「生きている限り 夢見る力がある限り きっと何かが助けてくれる」という言葉で終わります。

現代もそんなに変わらない状況かもしれません。しかし、どんなに苦しくても、つらくても「生きている限り 夢見る力がある限り きっと何かが助けてくれる」と若者や子どもたちに語りかける大人が必要です。若者や子どもたちに常に語りかけていく大人の存在が必要だろうと思っています。特に私たち教育委員会がそんな役目なのかもしれないと思う今日この頃です。

今日は、健康づくり課から林課長と藤松係長にお越しいただいています。よろしく願います。

それでは、本日の３分間スピーチは木下博物館長ですので、よろしくお願いします。

博物館館長 「基幹博物館の展示等について」 ３分間スピーチ

教育長 ありがとうございました。

次回は、高橋生涯学習課長願います。

《署名委員の指名》

本日の会議録署名委員は、山田委員、市川委員です。

《議案審議》

教育長 本日の案件は議案が2件、報告が8件、周知事項が5件です。

＜議案第 1 号＞ 松本市社会教育委員の委嘱について

教育政策課長 議案第 1 号「松本市社会教育委員の委嘱について」趣旨、選考の方法、委嘱
予定者、任期等を説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。

花村委員　公募の割合が３０％を割っておりますが、これについて問題はないのでしょうか。

教育政策課長 あくまでも努力目標であり、問題はありません。

花村委員 分かりました。

教育長 他にご意見等よろしいですか。

特にご発言が無いようですので、議案第1号は承認することとします。

＜議案第２号＞ 図書館コンピュータシステム更新に伴う休館について

中央図書館長 議案第2号「図書館コンピュータシステム更新に伴う休館について」趣旨、
期間等、新システムの概要、周知方法等について説明

教育長 ありがとうございました。

ご質問、ご意見等ございますか。

花村委員　新システムの概要に「スマートフォン対応」とあります。スマートフォンの OS（オペレーティング・システム）に何種類かありますが、全てにおいて対応可能でしょうか。

中央図書館長 はい、大丈夫です。

花村委員 パソコンでも対応可能でしょうか

中央図書館長 はい。365日、24時間インターネットで接続可能です。

花村委員　便利になりましたね。

それからもう一つ、希望ですが、今年度から小中学校の図書館司書が市雇用となりましたので、小中学校の図書館と結びつけることが出来たらいいと思います。

中央図書館長 現在、小学校のコンピュータシステムが富士通、図書館がNECを使用して

います。システム導入の際のプロポーザルでは、学校図書館連携が出来るよう多機能をもったものを採用しました。

市川委員 この絵を見ますと、おじいちゃん、おばあちゃんが簡単に利用が出来るように見えます。案外、メーカーが作った資料は偽りが多いように感じられますが、実際はどうなのでしょう。

中央図書館長 現在、このシステムを導入している自治体は県内で長野市、飯田市、大町市です。

自動貸出機を導入することで、全ての利用者を自動貸出機へという気持ちは全くありません。ただ、利用者のプライバシーの保護という観点から、自分で借りたい本が職員を通さず借りることが出来るようにし、本が借りやすい環境をつくりました。また、カウンターの近くに置きますので、使用方法が分からない方にはもちろん丁寧に説明し、また、これを導入することで利用者の方といろいろお話をしながら使用することが出来ればということを考えています。

市川委員 年齢層については別に考えるということでしょうか。

中央図書館長 そうですね。必ず自動貸出機を使いなさいということではありません。使用の際には、丁寧な説明をしていきたいと思います。

教育長 また、導入後に少し状況等を報告していただければと思います。
他に質問等ございますか。

ないようですので、議案第2号については承認することとします。

では、報告案件に移りますが、健康づくり課の報告第7号からお願いします。

<報告第7号> 中学生に対するピロリ菌検査の実施について

健康づくり課保健予防担当係長 報告第7号「中学生に対するピロリ菌検査の実施について」趣旨、概要、検査方法、費用等、今後について説明

教育長 ご質問、ご意見等ありますでしょうか。

福島委員 背景に「全国的にも取組みが始まっています」と書かれていますが、現在どのぐらいの自治体で行われているのでしょうか。それから、二次検査で陽性となった場合の費用が自己負担となっていますが、負担はどれくらいでしょうか。また、二次検査を受ける人が約130人見込みとなっていますが、そのうち陽性になる可能性のある生徒はどのぐらいを予想されているのか、以上3点につ

いて教えてください。

健康づくり課保健予防担当係長 現在の実施自治体は、北海道では10自治体以上20自治体未満、その他は岡山県の真庭市等で九州では県全体で実施していると聞いており、今、分かっている範囲で30から40自治体です。

料金は、担当医が胃カメラまで実施するという判断になると、保険が適用され3割負担でできます。しかし、担当医及び保護者判断で胃カメラまでは実施せず除菌の薬で対応となった場合は、全額自己負担となります。この場合、除菌費用と、除菌が確実に行われたかという検査が必要となるため、合わせて1万から1万5千円程度だと思います。

最終的にどれくらいが陽性になるかということですが、他の自治体の状況を見ますと約4～5%と見込んでいます。

花村委員 このピロリ菌の検査は、学校健診の血液を使用するのですよね。学校健診の際、校長会との約束で、「この血液は他に運用しない」という前提で許可が得られたと思いますが、許可はとれているのでしょうか。

健康づくり課長 学校健診とは別に、ピロリ菌の検査についての説明文章を配布し同意書をいただきます。

花村委員 同意書はとりますよね。

健康づくり課長 はい。

花村委員 ですので、大前提になるところの了解を得ていないと思います。
学校長会の了解は得ているのでしょうか。

健康づくり課長 これから了承を得ます。

花村委員 同意書はもちろんとらなければいけませんが、その出発点で現在実施している検査の一部を使用するには校長会の許可が必要だと思います。

健康づくり課長 はい。わかりました。ありがとうございます。

教育長 はい。では、丁寧にやっていただくということをお願いします。
他にありますか。
これは、県内では初めてのことでしょうか。

健康づくり課長 はい。初めてです。

市川委員 私は、自覚症状がなかったのですが、検査をしてピロリ菌があったことから除菌治療しました。治療後は、とても調子がいいです。

教育長 私は症状があつて治療をしましたが、もう夢のように改善しました。どうしてこんなに変わったかというくらい変わります。

実施する利点（４）「周囲の大人たちへの理解の促進や受診のきっかけとなることが期待されます。」とありますが、私はこの効果がかなり期待できるのではないかと思います。

他にご意見等ありますか。

花村委員 もう一つだけ教えてください。対象を小学校４年生と中学校２年生としたのは生活習慣病の検査と同時に実施するからでしょうか。

健康づくり課長 それも大きな理由の一つです。

花村委員 何か生物学的な根拠は何かあるのでしょうか。

健康づくり課長 胃カメラや除菌治療は、体力的にみても１０歳を過ぎてからの方がいいとお聞きしております。

花村委員 そうですね。かなりきつい抗生物質を使用しますのです。

健康づくり課長 中にはそのピロリ菌の治療をしたことで、胃がんの予防ももちろんですが、鉄欠乏性の貧血や胃潰瘍等で体調が悪いお子さんの体調がとてよくなり、勉強や運動等ふだんの生活も非常によくなったということもあり体調の悪いお子さんについては、現在の健康管理にもつながるということはお聞きをしております。

教育長 他にご意見等よろしいでしょうか。

それでは、報告第７号については報告を受けたことといたします。

<報告第１号> 平成２９年松本市議会１２月定例会の結果について

教育政策課長 報告第１号「平成２９年松本市議会１２月定例会の結果について」会期、審査結果、趣旨等を説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。

特にご発言がないようですので、報告第１号は報告を受けたこととします。

<報告第２号> 「平成２９年度行政改革（平成３０年度実施）について」

教育政策課長 報告第２号「平成２９年度行政改革（平成３０年度実施）について」概要、人員体制、検討結果等について説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。

花村委員 正規職員の「非現業」と「現業」とはどういうことでしょうか。

教育政策課長 非現業は、事務職員であり、現業職員は、学校、保育園、給食センターの給食調理や学校等の施設管理、ごみ処理、道路の補修作業等を対応する職員です。

花村委員 非常勤職員の１種、２種臨時の違いは何でしょうか。

教育政策課長 １種臨時は、月に１７日勤務、２種臨時は、繁忙期対応や短期のアルバイトと考えていただければと思います。

花村委員 ありがとうございました。

博物館長 別紙の資料、教育政策課の２番「山辺学校歴史民族資料館の所管換え」と博物館の３５番「山辺学校歴史民族資料館の所管換え」については、今回の行政改革で決定したのですが、平成３１年度に実施となりますのでご了承ください。

教育長 平成３１年度の開館に合わせてということですね。

博物館長 はい、そうです。

教育長 他にご意見等ございますか。

無いようですので、報告第２号については報告を受けたこととします。

<報告第３号> 平成２９年度「地区の皆さんと語る会」の開催結果について

教育政策課長 報告第３号 『平成２９年度「地区の皆さんと語る会」の開催結果について』開催結果、方法、テーマ、アンケート集計結果、考察等について説明

教育長 開かれた教育委員会として平成１７年から継続している「語る会」です。１年に２回開催しているものですが、今年は新たな方法として実施しました。

ご意見、ご質問等ございますか。

花村委員 第三地区では、学校関係者がおらず、参加人数にも違いがありましたが、周知方法等に何か違いがあったのでしょうか。

教育政策課長 参集範囲については、それぞれの地区にお任せしておりました。今後は、多くの方に出席していただけるように依頼してまいります。

市川委員 私もどうしてこんなに違いが出たのかお聞きしたかったです。

山田委員 おそらく、神林地区の場合は中心になる方が多くの方に声かけてくれたと思います。

市川委員 せっかく実施するのであれば、多くの方に参加いただけるようにしていただければと思います。

教育政策課長 分かりました。

教育長 逆に言えば、今年は2地区で、それぞれ良さと課題が分かったと思います。是非、来年は、学校にも声を掛け、地域の方々はこんなご意見をお持ちなのかということを知っていただく機会にしていいただければと思います。

他にご意見等ございますか。

無いようですので、報告第3号については報告を受けたことといたします。

<報告第4号> 宇宙関連事業講演会の開催結果について

教育政策課長 報告第4号「宇宙関連事業講演会の開催結果について」趣旨、結果報告等について説明

教育長 ご意見、ご質問等ございますか。

無いようですので、報告4号については、報告を受けたこととします。

<報告第5号> 平成28年度児童生徒の生徒指導上の諸問題に関する調査結果について。

学校指導課長 報告第5号「平成28年度児童生徒の生徒指導上の諸問題に関する調査結果について」趣旨、調査結果、いじめの状況等、不登校等の状況等、今後の取組みについて説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。

花村委員 平成28年度の小学校及び中学校における不登校の状況のア長期欠席児童生徒の集計で平成28年度の中学校は60名が病気となっております。

中学校は21校ですので、1校で約3名が病気で長期欠席をしているという状況となります。どのような病気なのでしょう。

学校指導課長 精神的な面からお医者さんに相談をし、診断されるケースが多く見られます。

花村委員 やはりそうですか。いわゆる体調不良ではなくて、メンタルな部分が圧倒的に多いということですね。

それから、5（3）に今年度から「自立支援教員」を設置したことで、報告会を開催し情報共有しているとありますが、その事例内容について教えてください。

学校指導課長 小学校から報告があった事案です。人に会うことを拒否していたお子さんについて、その子の趣味を事前に調べ、そこから話題を広げ、何とか手がかりを得て、学校に行くことが出来るようになり、最近では学級の友達とも少しずつ関わりができるようになってきたというもの。

自立支援教員がさまざまな学校に入って先生方とお話をする中で、学校全体でその子のことを気にかけていこうという雰囲気が生まれてきたというもの。

それから、若干諦めているところもあった子どもでしたが、きちんと対応を続けることで上を向いてくるという報告もありました。

また、中学校では、5月から不登校になってしまったお子さんに家庭訪問を始めたのですが、最初は本人に会えず、おじいちゃんやおばあちゃんと立ち話をする所から始め、ある日、その子が作ったクッキーを自立支援教員がもらう機会があり、そこから関わりができ、会えたり会えなかったりを繰り返し、時には強く拒まれるというようなことがあったようですが、「今日、自立支援の先生はどうして来なかったのかな」と家族に話すようになり、拒否されても自立支援教員との関係ができてきているという報告もいただいております。

花村委員 自立支援教員が子どもの話をよく聞いていただけるようになって、本当に良かったですね。それから、「子どもの好きなことをきっかけとして」と報告がありましたが、とてもいいことだと思います。

教育長 他にご意見等ありますか。

福島委員 5点あります。まず、不登校に関して2点あります。平成28年度の不登校生徒児童数が329人となっておりますが、その中で本当に誰とも接点をもっていない、外とつながっていないケースがどれだけあるのでしょうか。それから、不登校の要因に「家庭に係る状況」がありますが、具体的にはどんなものがあるのか教えてください。

学校指導課長 今年度、接点をもっていない子どもは1人おります。不登校支援アドバイザーの横林先生が関わっているもので、「お電話下さい」と手紙を置いてきたりしているのですが、なかなか生徒さんに会えていない状況だと聞いております。

それから、「家庭に係る状況」ですが、お家の方がご病気でなかなか送り出せない、あるいは、お家の方が病気で外に出られないので、子どもも外へ出てこられない。保護者が夜のお仕事をされていて、朝、起きることができず生活

リズムがうまくつけられないということが事案としては上がってきております。

福島委員 いじめの状況イ「発見に至った経緯別集計」で、「学級担任が発見」が小学校110件とあります。平成26年度、27年度の経年変化は分かりますか。

学校指導課長 はい。平成27年度は17件、26年度は11件です。

福島委員 よく全国的にいじめが問題になって、自殺までいってしまう場合、担任がそれに気づかなくて、認知しないということが多いと聞きますのでお聞きしました。

2点目ですが、4調査結果(2)平成28年度における小学校及び中学校におけるいじめの状況のイ発見に至った経緯別集計のE「アンケート調査等学校の実践により発見」で小学校が500件を超えております。この中には些細なものも入っていると思いますが、深刻な事案は500件中どれくらいあるのでしょうか。

学校指導課長 500件ある内のどれくらいということは、深刻さの度合いについて量ることができないため、おそらく、「解消に向けて取り組み中」に含まれていると思います。

県からも松本の認知件数が多いため、どんな工夫をしているのかという問い合わせがありました。アンケート方法を学校で見直し、全校でアンケートの時間としたことで、先生方の意識が向上したという学校があったこと、そして、アンケート用紙を封筒に入れて回収する方法を取り入れたという学校もあったこと等を回答しました。また、今年度からアンケート内容に「無料通話アプリやSNSなどで、無視をされたり、悪口を書き込まれたり、突然グループの仲間から外されたりする。」という項目を加えたことで、「これも書いていいんだ」ということでアンケートに載ってきたというようなこともありました。

松本市はいじめのアンケート調査を2カ月に1回やっておりますので、職員会等でいじめや生徒指導の諸問題に関する協議を行う時間が増加し、かなり関心を高く持って取り組んでいることがあるのではないかと思います。

今、ご質問がありましたが、かなり細かなもの、いじめの芽や兆候は上がってきており件数は増えておりますが、この中の非常に重いものについての調査までは至っておりません。

福島委員 最後の質問ですが、今、学校指導課長がおっしゃった最後のところに関係し

ます。アンケートをとっても本人が誰にも言えない、一人でそれを抱えているという場合もあるかと思うのですが、今、小学校や中学校で取り組んでいる事案の中で深刻な事案は、どれだけのものがアンケートから発見されたものなのでしょうか。それとも、本人が訴えたのか、または、お友達からなのか、その経緯と言うのでしょうか、数字ではなく、質というのでしょうか、教えてください。

学校指導課長 アンケートにも書いてこないことが今年度の事案から分かってきています。それは、福島委員がおっしゃるように、本来は身近に最も信頼できる大人がいて、担任の先生、親御さんに話が出来れば良かったのですが、なかなかそれが言えず、友達がそれを心配してくれて、周りの大人の方に相談したことによって分かりました。事案によっては大人というよりは、友達が助けてくれるということがあるということは感じています。

小さなことは気づきやすいのですが、重大なことについては周りの大人や、その子を囲んでいる人間関係がうまくいっていれば察知できると思います。そういう意味で、周囲の大人が信頼あるべきというようなことは、研修等を通して、子どもたちが一番身近な大人に相談ができるということを目指していかなければいけないと感じております。

福島委員 大人だけではなく、お友達が困っているとき、その子どもも子どもだけで解決するのではなく、第三者、違う人に相談できるような取組みをお願いしたいと思いました。

以上です。

学校指導課長 ありがとうございます。

教育長 やはり、友達同士が「今日何ちゃん、ちょっと元気ない」とか、「何か普段と違う」と小さな変化に気づくのではないのでしょうか。お互いが気づき合えるような学級経営というかクラス作りが出来ればいいと思います。

今、福島委員がおっしゃったように、まさに人と人が繋がっていることによっていじめを防いでいくことが大事だと思います。

山田委員 4調査結果（1）ウ学年別加害児童生徒の内訳で、H28で中学2年生が12人、前年度が1人ですので、大きく増加しています。前年度、暴力行為がなかった学年が、次の年にこれだけ増加していることが気になります。具体的な

内容が分かれば教えてください。

それから4（3）イ「不登校の要因」の「無気力」や「不安」が中学生で圧倒的に多くなっていますが、内容を把握されているようであれば、教えてください。

それから、この子どもたちに対して自立支援教員がどんな関わり方をしているのか、または、学校指導課で各学校に対してどのようなアプローチをされているのか教えてください。

最後に、いじめアンケートの内容の見直しはされているのでしょうか。というのは、先程、子どもたちが発見するケースもあると思いますので、「お友達が誰かにいじめられている」あるいは、「嫌なことをされているのを見たことがありますか」みたいな項目があるのかどうか教えてください。

学校指導課長 アンケートの見直しについては、今年度から「自分以外の友だちに対するいじめや体罰を見たり、聞いたりしたことがありますか」という項目を加え、見直しました。

暴力行為の中身ですが、例えば、「先輩が部活動の着替えの際、蹴ったり体当たりをしてくるので『止めてください』と言っても止めてくれなかった」

「部活中にボールをぶつけられた」、「からかわれて、かっとなって蹴り上げた」、「空き教室に入れられて出られなくされた」というようなことがあります。特に、ここの学校が多いということではありません。また、該当の生徒が同じ人なのか等まで追っておりませんので分かりません。中学2年生が一番不安定な時期なので、そんな数の現れが出てきているのかなと思っています。

また、無気力の傾向だとか、不安の傾向の数については、学校の先生方がアンケートを分類する中で、先生方が分類して数にカウントしているものです。内容の詳細についてまでは分かりません。数字の上からは追っていくことはできませんが、一人ひとりの子どもたちには「支援シート」があり、自立支援教員が訪問するときに必ず話題にして、単に数字だけではなく、個別の変化や今後の対応について先生方と共有しております。分類的には「前向きになれない」、「家から出られない」状態が家から出て少し外とやりとりができるようになると、この無気力だとか、不安の中身も少し他の人にも分かってくると思います。他の人が会って話が出来ないため、その理由や内容がなかなか具体的

に分からないと受け止めています。

山田委員 ありがとうございました。

教育長 まだまだお聞きしたいことは沢山あると思いますが、本年度も引続き集計をしていますので、今年度の状況と合わせながら、自立支援教員報告会の成果も報告していただけるとありがたいと思いますので、お願いします。

それでは、報告第5号については報告を受けたこととします。

<報告第6号> 未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い～第33回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会～の開催について

生涯学習課・中央公民館長 報告第6号「未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い～第33回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会～の開催について」概要、趣旨等について説明

教育長 ご質問、ご意見等はございますか。

ご意見等無いようですので、報告第6号は報告を受けたこととします。

<報告第8号> 「平成29年度全国学力・学習状況調査の分析と考察」について

学校指導課長 報告第8号「平成29年度全国学力・学習状況調査の分析と考察について」趣旨、結果の概要、今後の対応等について説明

教育長 ご質問、ご意見等ありますか。

無いようですので、報告第8号は報告を受けたこととします。

<周知事項1> 松本市出前講座の内容の見直しについて

<周知事項2> 松本市美術館館長アートレクチャーの開催について

<周知事項3> 市立博物館年始臨時開館について

<周知事項4> 平成30年戊戌「宝船 七福神と干支ピンバッジ」の販売について

<周知事項5> 松本市市制施行110周年記念 松本市立博物館本館・分館の企画展開催について

教育長 以上で予定されていた案件は終わりました。

事務局から何かありますでしょうか。

教育政策課長 それでは、1月の教育委員会の日程ですが、1月7日、日曜日13時から松本市成人式を開催いたします。18日は教育委員研究会、16時からPTAとの懇談会、25日は定例教育委員会となっておりますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

《閉会宣言》

赤羽教育長は、平成29年度第9回松本市教育委員会を閉じる旨宣言した。

＜午後 5時05分閉会＞

会議録調製職員

教育政策課教育政策担当係長

堀 敬子

会 議 録 署 名 委 員

山田 幸江

市川 莊一
